

IV-3 授業科目の概要

保健師教育課程専門科目

時間割コード	授業科目	担当教員	授業科目の概要
255219	公衆衛生看護学原論	岡本教授 蔭山准教授 小西教授 白井助教 樺山助教	公衆衛生看護学の基本的なものの見方・考え方・概念・歴史・価値を理解し、公衆衛生看護活動を行う上で必須の技術・理論・国際的動向を学ぶ。
255220	公衆衛生看護実践開発学Ⅰ	岡本教授 蔭山准教授 小西教授 白井助教 樺山助教	公衆衛生看護実践における基本的な技術論を理解し、演習を通して標準的な事例への技術を習得するとともに、応用を要する模擬事例への支援展開について協議し提案する。
255221	公衆衛生看護実践開発学Ⅱ	蔭山准教授 岡本教授 小西教授 白井助教 樺山助教	地域住民への個別指導・集団指導を行う際の知識と技術を習得することを目的とする。具体的には、ライフステージ（母子・成人・高齢者等）、ハイリスク集団（障がい者・マイノリティ等）にみた健康問題の根拠法令、支援システム、具体的な活動を学ぶ。公衆衛生看護の実践を理論に基づき整理・評価するとともに、支援技術を学問として発展させる能力を養う。
255222	公衆衛生看護実践開発演習	蔭山准教授 岡本教授 小西教授 白井助教 樺山助教	複雑困難事例などを取り上げ、個人や家族のもつ健康課題とそれに関連する要因をアセスメントし、構造化して示した上で支援計画を立てる演習を行い、個別支援能力を養う。その他、グループを活用した支援方法、支援場面における公衆衛生看護の倫理に基づく議論展開の習得、国際的視野に立った介入方法を学ぶ。以上を通して、実践能力と実践を科学的に説明する能力を養う。
255127	家族看護援助論	山崎教授 新家講師	家族看護および家族に関連する国内外の研究文献の動向や最新の知見を概観しつつ、各学生の実践領域と研究テーマに応じた家族理論・家族研究の方法・家族看護実践技法に焦点を当て検討する。家族看護に関する事例を用いて家族システム、家族成員に対する援助のあり方を考究する。
255223	公衆衛生看護診断・活動展開学	蔭山准教授 岡本教授 小西教授 白井助教 樺山助教	コミュニティ・アセスメントの理論と方法、および、アセスメントに基づいた活動計画の立案方法を学ぶ。演習を通して実践能力を身に付けてるとともに、コミュニティ・アセスメントの支援技術を発展・開発する能力を養う。
255224	地域健康危機管理学	小西教授 岡本教授 蔭山准教授 白井助教 樺山助教	健康危機管理に関連する要因について理解し、リスクアセスメントに必要な調査分析、初動調査、原因分析等の具体的な研究方法について学ぶ。また、集団施設の種類に応じた感染症対策、災害の種類や地域性に応じた支援体制の構築について、実践のデータから支援体制を評価し、地域関係機関との協働による日頃の備えの具体的な方法を提案する。
255225	公衆衛生看護管理学	小西教授 岡本教授 蔭山准教授 白井助教 樺山助教	公衆衛生看護管理の目的と機能について理解し、地域ケアを支える社会資源、人材、関係機関、サービス、ケアシステム等の特性および質を評価する研究手法を学び、新たな資源の開発、資質の向上、連携システムの強化に向けた具体的な方策を提案する。
251515	国際健康政策学	高鳥毛教授 磯教授	講義では、まず普遍的な公衆衛生とは何かについて理解することを目的とする。国際社会において、貧困、感染症、災害、移民・難民、紛争や戦争、肥満、飢えなどが大きな健康課題である。イギリスとわが国の保健医療や公衆衛生の制度を歴史的に比較して理解することを通して、国際的な健康政策について学ぶことを目的とする。
255226	予防対策病態論	神出教授	保健師が業務として対象とすることの多い疾患・疾病の病態を生理学・病理学・薬理学などの基本的な知識を取り入れながらわかりやすく講義することで現場の疾病対策、予防プログラムの構築に役立てる知識が得られるような内容。さらには疾病ガイドラインなどに定められた基準値や治療目標値の意味や意義を病態に則して解説し、理解を深める。
250507	疫学各論	磯教授	学部で履修した疫学の応用編とする。健康格差・健康の社会決定要因（社会格差、貧困、職業、環境、社会心理要因、ジェンダー等）をテーマに、国内外の著名なゲストスピーカーを招待して、講義ならびに演者間の討論を実施する。

250572	医学統計学総論	新谷教授	臨床疫学研究で多用される統計学の基本的コンセプトを理解し、研究デザインやデータの形に添って正しい統計検定手法の選択ができ、統計ソフトを用いて自身で解析を行うことができる。臨床研究論文などで用いられる統計学を理解し、使用された統計手法について評価及び他者に説明できる。
255229	公衆衛生看護実践開発実習	岡本教授 蔭山准教授 小西教授 神出教授 白井助教 権山助教	実習を通して、地域を構成する人々の健康とwell-beingを護り強化する活動の実際を学び、理論と実践を統合するとともに、自己を振り返り、ミニマムリクワイアメントに至る公衆衛生看護の実践力を養う。同時に、公衆衛生と看護の専門職としての高い倫理観を養う。本実習では、継続家庭訪問や事業・活動への参加を通して、講義・演習で学んだ公衆衛生看護の基本的な知識・技術を実践に適用し、実践能力を高める。
255230	公衆衛生看護診断・活動展開実習	岡本教授 蔭山准教授 小西教授 神出教授 白井助教 権山助教	講義と演習で学習したコミュニティ・アセスメントの理論と方法、および、アセスメントに基づいた活動計画の立案方法に基づいて、臨地にてコミュニティ・アセスメントから活動計画の立案、一部の展開・評価に至る実習を行う。 他の臨地実習（公衆衛生看護実践開発実習、公衆衛生看護管理実習）と公衆衛生看護地域開発演習での学びを連動させ、包括的かつ継続的、複合的にコミュニティへの理解を深め、住民・関係者と協働して活動する実践能力を習得するとともに、地域に役立つ情報や工夫を提言する。
255231	公衆衛生看護管理実習	岡本教授 蔭山准教授 小西教授 神出教授 白井助教 権山助教	公衆衛生看護管理を目的として、地域ケアを支える社会資源、人材、関係機関、サービス、ケアシステム等の特性および質を研究手方法を用いて分析する。分析結果に基づき、地域特性を活かした新たな資源の開発、資質の向上、連携システムの強化に向けた具体的な方策を提案する。